

(別紙4(2))

事業所名 グループホームさっちゃんの家

目標達成計画

作成日: 平成 22年 4月 9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	所内研修が計画的に行われておらず、介護技術が一定していない。	職員全員が所内研修を受ける機会があり、一定の介護技術を身につける。	①介護技術マニュアルの作成 ②DVO活用し、職員が講師となる。 ③技術の評価を行う。	1年
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	①町内会に加入され、組長を経験するなど、地域に密着して、地域の一員として交流されている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	①規定どおりに2か月に1回の運営推進会議が開催されている。 ②会議で出された意見についても積極的に取り組んでいる。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	①定期的に会議報告を行ったり、意見もいただいたり情報交換等行っている。介護相談員の受け入れもしている。 ②高校の教員の職場体験も受けるなど対応している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	②御意見箱を設置したり、面会時に意見等受け止める仕組みがある。 ③家族向けにホーム便りも発行されている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

理念に揚げた「家族が暮らしているように成長できること」の通り、温かい空気の流れているホームである。地域とのつながりも、年に数回、町内の行事に参加するなど、少しずつ結びつきができていく。

- 外部評価軽減要件
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
 - 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
 - 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。
- 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。